

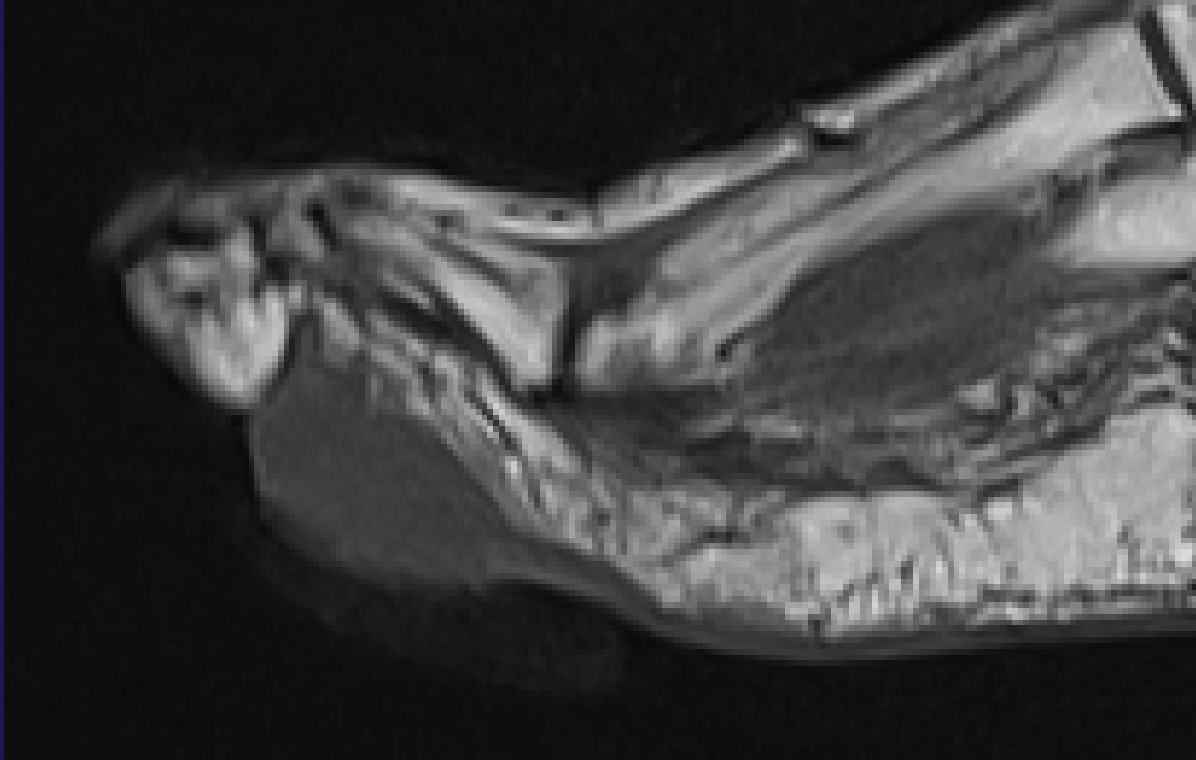
臨床所見

- 73 歳 女性。
- 現病歴：1年前からの右足底腫瘍が急に増大したため当院皮膚科を受診。臨床像から扁平上皮癌が疑われ単純切除を受けた。病理組織像で、低悪性度線維性腫瘍が疑われ、当科へ紹介となった。
- 既往歴, 併存症, 家族歴：特記事項なし

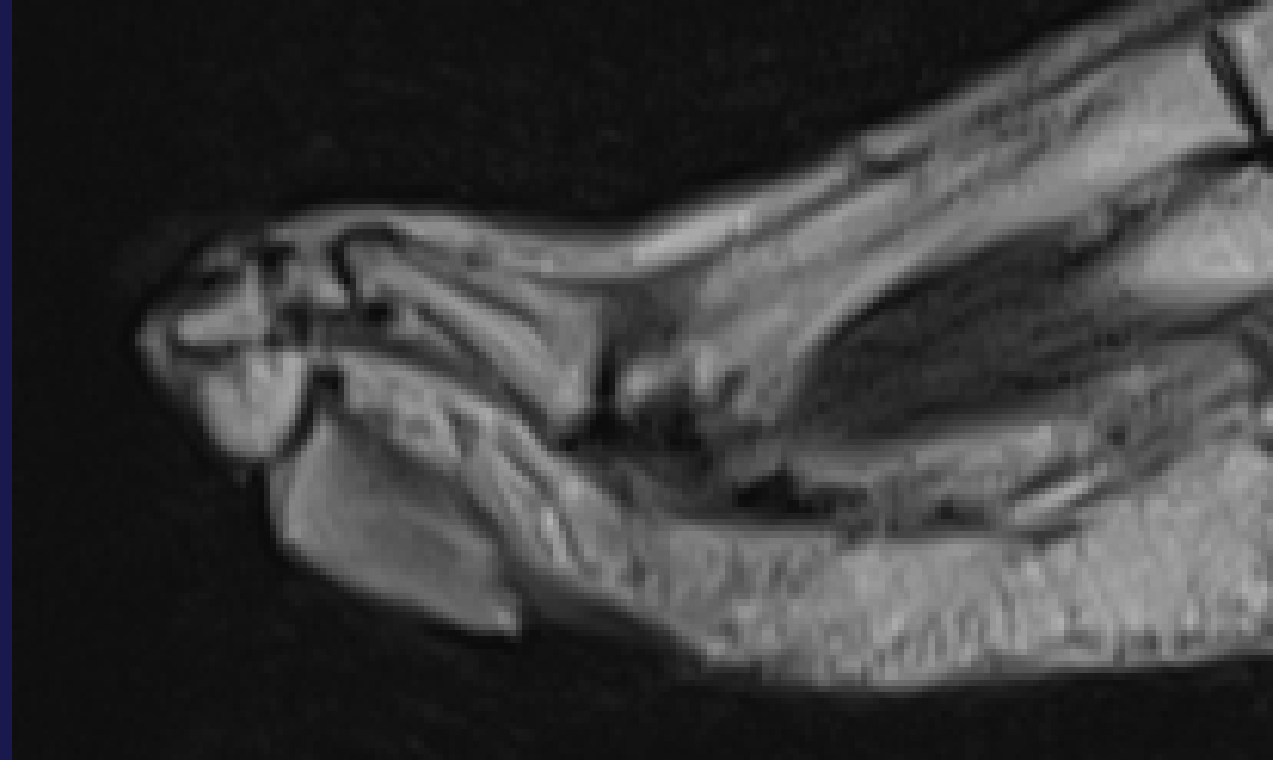
血液検査所見

- 特記すべき異常所見なし

画像所見



MRI T1WI sagittal



MRI T2WI sagittal

画像診断

皮膚腫瘍

画像上の鑑別診断

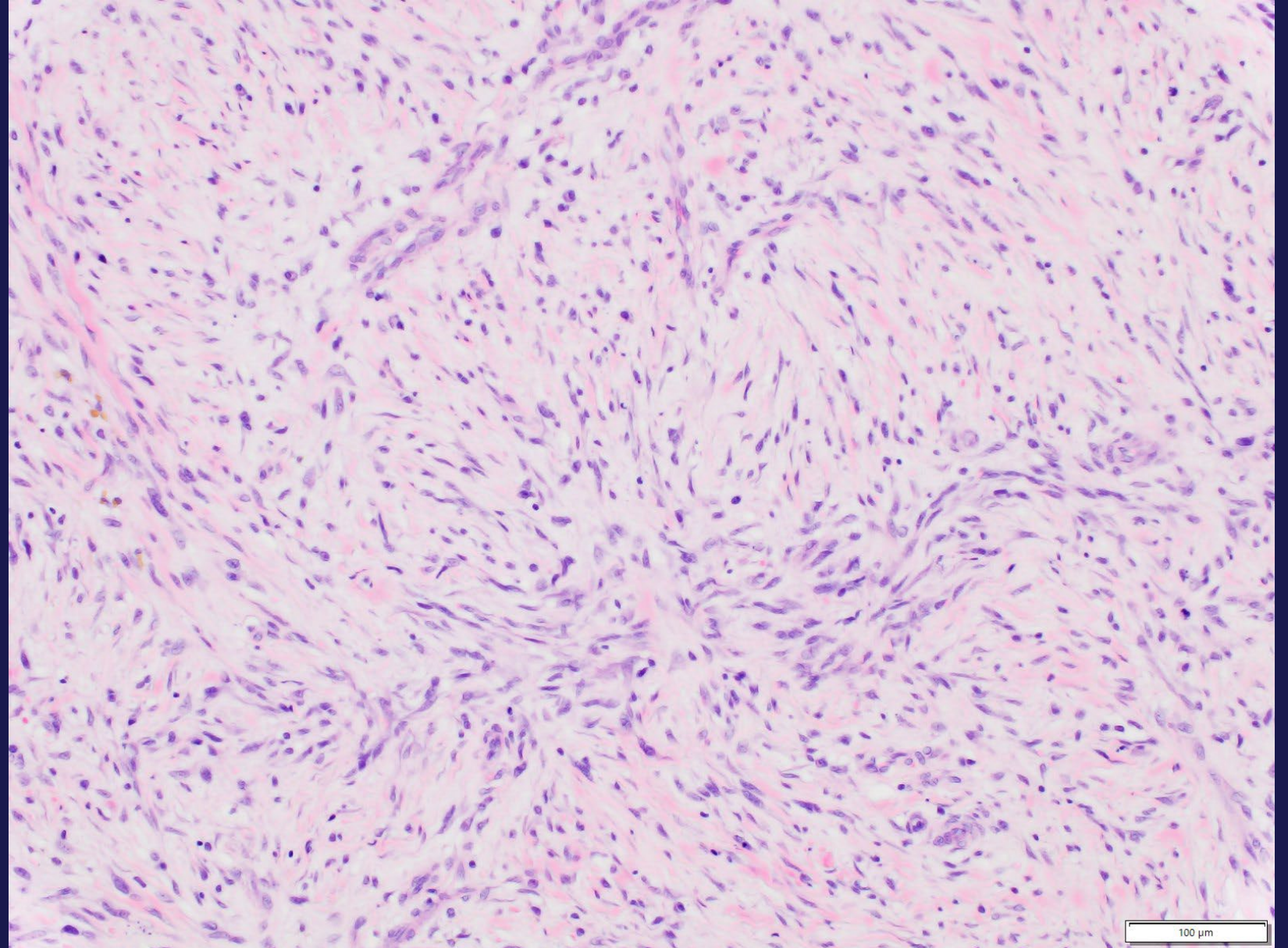
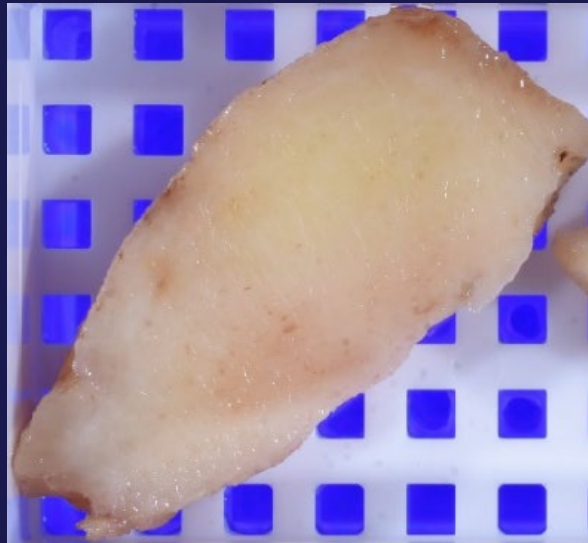
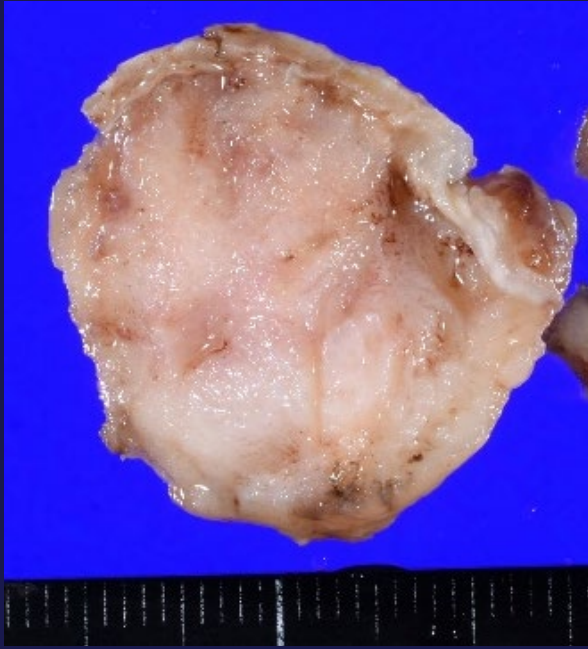
- 皮膚癌（扁平上皮癌、有棘細胞癌、メルケル細胞癌）
- 隆起性皮膚線維肉腫

肉眼所見

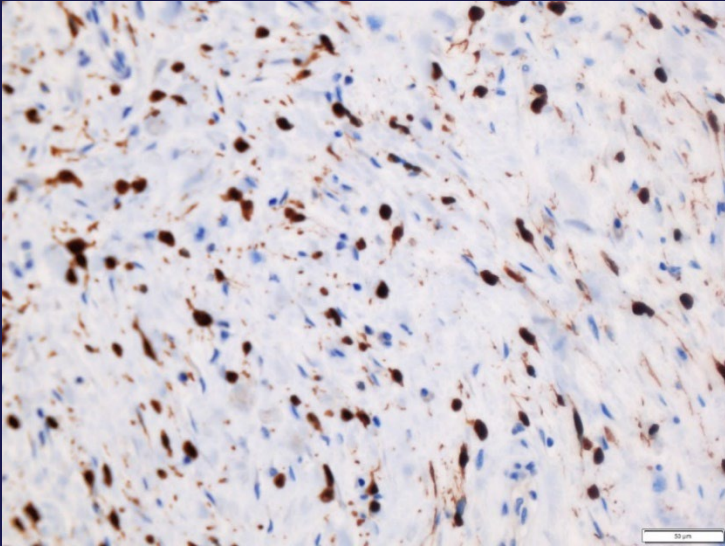


右足底に4×2.5×1cmの硬い赤色結節を認めた.

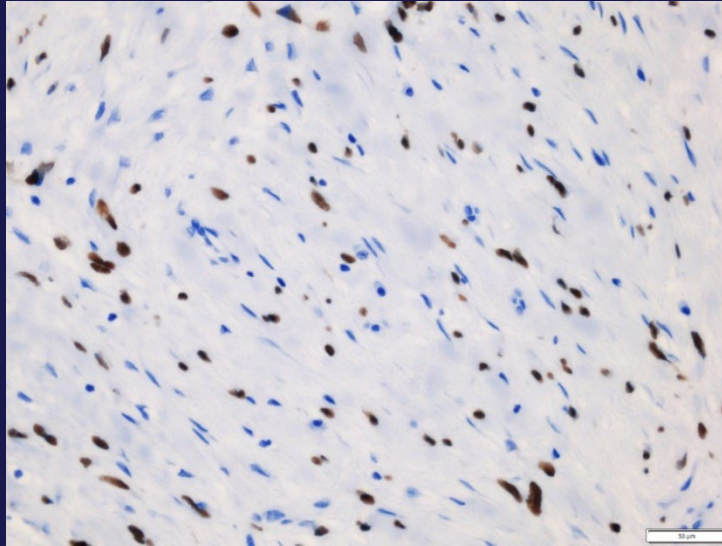
病理組織学的所見(HE; ×200)



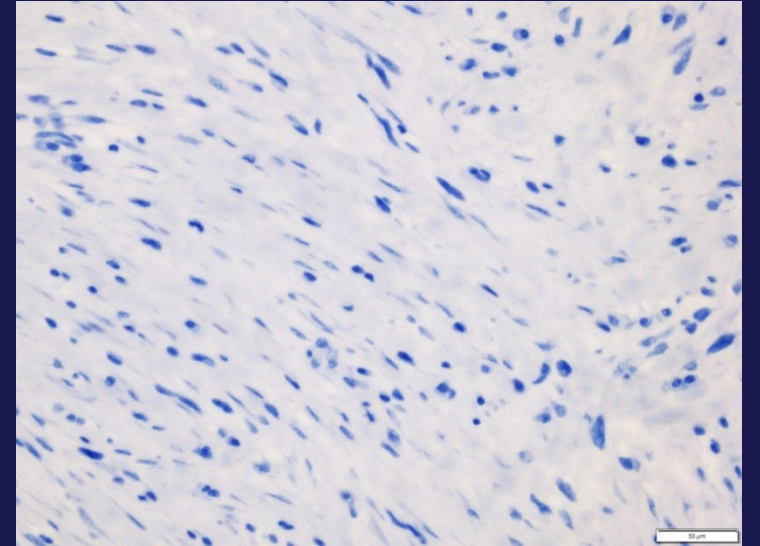
免疫染色所見(×200)



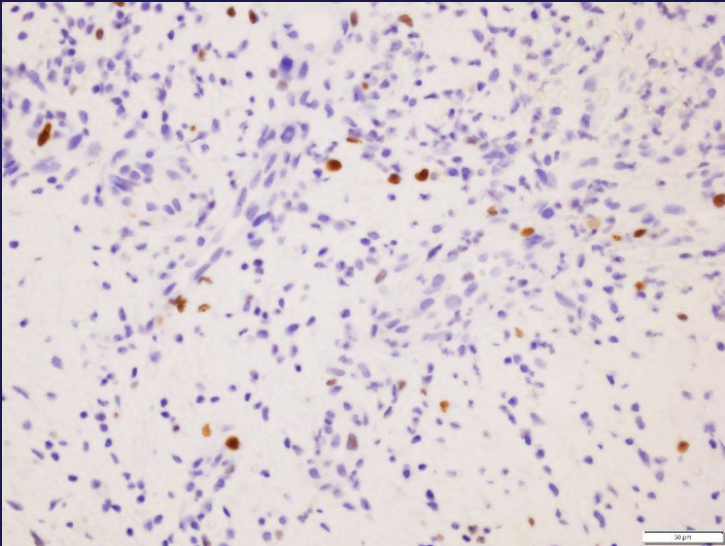
S100(+)



SOX10(+)



HMB45(-)



Ki-67 MIB-1 labeling index 20%

CD34(-) Desmin(-) Actin(+) MUC4(-)

α -SMA(+) β -カテニン(+/-)

細胞分子学 / 遺伝子学的検査所見

- FISHで、USP-6分離シグナルは陰性で、
結節性筋膜炎は否定的

病理学的鑑別診断

- 結節性筋膜炎
- デスモイド腫瘍
- 足底線維腫症

治療後の経過

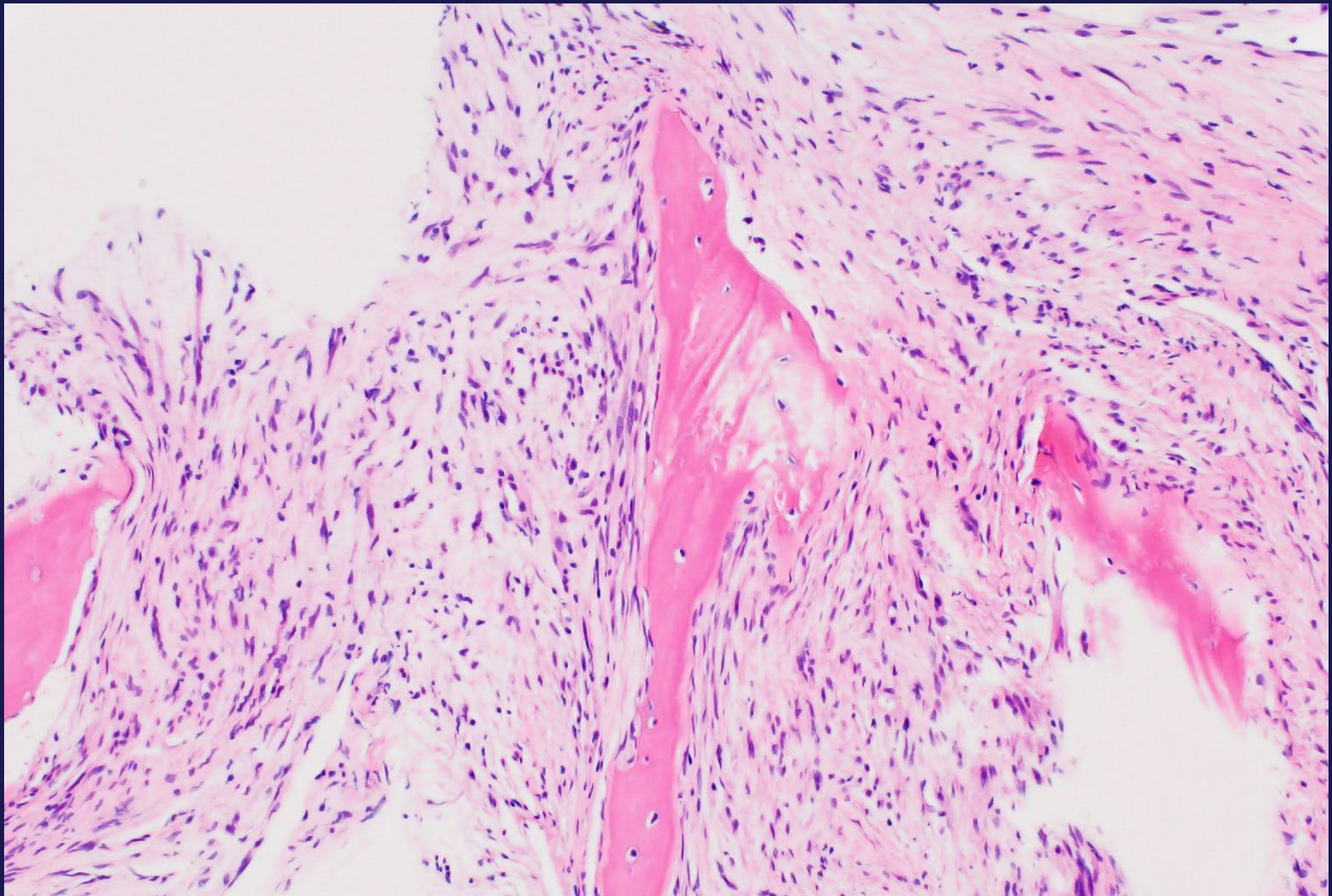
- 最終的に低悪性線維性腫瘍との病理診断
- 創部感染の沈静後，追加広範切除 + 逆行性足底皮弁
 - 残存腫瘍(-)，切除縁 陰性

治療後の経過

- 術後1か月頃の外来受診の際に転倒し、腰痛出現
 - この時の腰椎単純X線像でL2椎体前縁の圧迫骨折。経過観察。
- 術後3か月、誘因なく左股関節痛、歩行困難



椎体，骨盤に多発溶骨像
→ 血液系悪性腫瘍>>足底腫瘍転移を疑い，
CTガイド下針生検



骨生検病理所見(HE; $\times 200$)

治療後の経過

- 足底腫瘍の骨転移と診断
- 足底の創縁に再発
 - 病理組織の再検討
- L1-S/骨盤に緩和放射線照射(24Gy/6fr)
- 骨転移出現後約1年でDOD

本例が極めて興味深い症例であることの要点(ここに最終診断名は記載しないでください)

- 最初の病理診断では、急速な骨転移の進行は考えにくく、再度臨床所見(発生部位、画像)と病理組織像を検討し、最終診断にたどり着いた。
- 病理組織像だけでは診断が極めて困難な症例で、臨床情報(局所所見、画像)を合わせて総合的に診断をつけること、Jaffe's triangleが改めて重要であると思われた症例である。

追加事項(何か特記事項があれば記載ください)